



# レシーバヒッチキット

Workman® 1100/2100/2110 および Twister® 1400/1600 汎用作業車用

モデル番号 07278

モデル番号 07278R

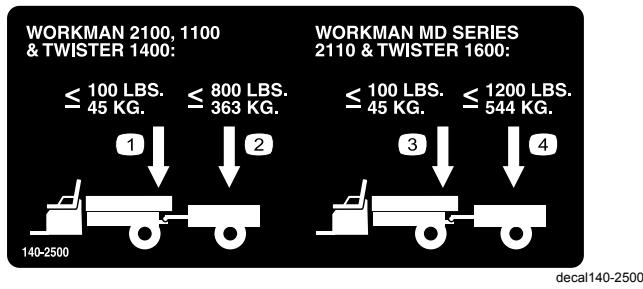
## 取り付け要領

# 安全について

## 安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



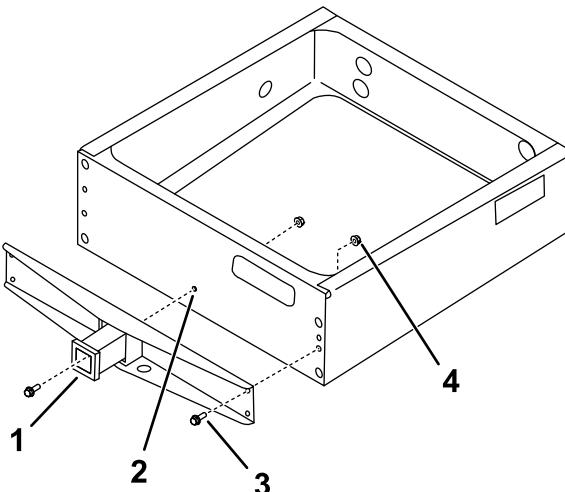
1. ワークマン 2100, 1100 およびツイスター 1400 最大トング重量は 45 kg
2. ワークマン 2100, 1100 およびツイスター 1400 最大レーラ重量は 363 kg
3. ワークマン MD シリーズ、2110 およびツイスター 1600 最大トング重量は 45 kg
4. ワークマン MD シリーズ、2110 およびツイスター 1600 最大トング重量は 544 kg

# 取り付け

## レシーバヒッチの取り付け

### ワークマン 1100, 2100, 2110 およびツイスター 1400, 1600 の場合

1. 後フレームについている既存のヒッチを外す。
2. 後フレームにレシーバヒッチを取り付けるフランジヘッドボルトとフランジナット各4を使用する図 1。

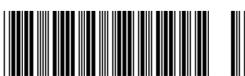


g296023

図 1

1. レシーバヒッチ
2. この位置に穴がない場合には、ヒッチを型紙としてここに  $\frac{1}{8}$ " の穴を開ける。
3. フランジヘッドボルト
4. フランジナット

**注** 標準ボルトマウント  $2" \times 2"$  はこのキットに含まれていません。ボルトマウントはヒッチ専門店や自動車用パーツ店で購入することができます。



## ワークマン MD/MDX の場合

1. 後スイングアームについている既存のヒッチを外す。
2. 後スイングアームにレシーバヒッチを取り付けるフランジヘッドボルトとフランジナット各5を使用する図 2。

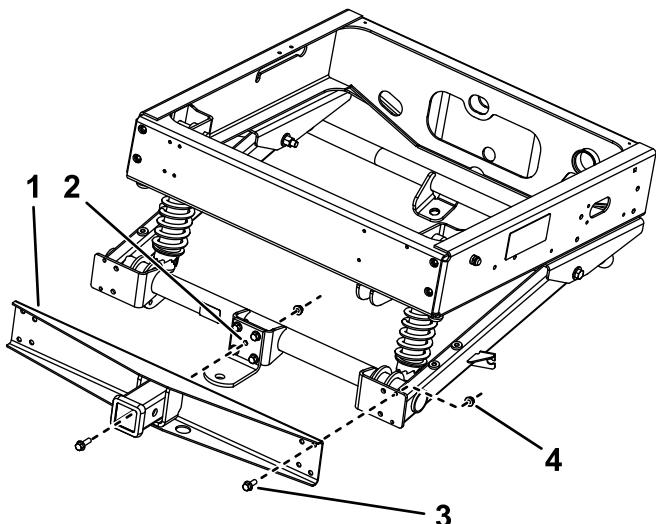


図 2

1. レシーバヒッチアセンブリ 3. フランジヘッドボルト
2. この位置に穴が無い場合 4. フランジナット  
には、ヒッチを型紙としてこ  
こに  $\frac{3}{8}$ " の穴を開ける。

## 運転操作

### ヒッチの干渉を防止するために

ボールマウントはメーカーによって形状が異なり、製品によっては荷台を吊り上げる時にホイストに干渉することがあります。その場合はマウントを外してください。

ヒッチとの接触の防止用には、テールゲートランヤードがあります。

**注** 標準ボールマウント2" x 2"はこのキットに含まれていません。ボールマウントはヒッチ専門店や自動車用パーツ店で購入することができます。